

特定配当等・特定株式等譲渡所得金額申告書の書き方の例

※例は、納税義務者にとって有利か不利かを示しているものではありません。

例1 源泉徴収口座Aについてすべて市民税・県民税での申告不要を選択する場合

| | | | |
|---------|--------|-----|--------|
| 源泉徴収口座A | | | |
| 配当 | 2,000円 | 譲渡益 | 3,000円 |
| 利子 | 1,000円 | | |

様式第14号の2(第11条関係)
(宛先)高崎市長



年度()年分) 市民税・県民税
特定配当等・特定株式等譲渡所得金額申

必要事項を記入し、ご捺印お願いします。

<提出年月日 年 月 日 >

| | | | | | |
|------------|-------------|------|-------------------------|--|--|
| 年1月1日現在の住所 | 高崎市高松町35番地1 | 電話番号 | ***-***-**** | | |
| 現在の住所 | 高崎市高松町35番地1 | 生年月日 | 明・大・昭平・令 * 年 * 月 * 日 | | |
| フリガナ | タカシ イチ | 個人番号 | *****-****-**** | | |
| 氏名 | 高崎 市 | | *****-****-**** | | |

上場株式等の配当所得等及び譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について、所
申告不要を選択する場合には、「① 申告不要を選択します。」の上、提出してください。上
頭目の口に✓(チェック)を記入してください。目目を記入の上、提出してく
資料の提出にご協力お願い

① 以下の項目の口に✓(チェック)を入れてください。なお、「①申告不要を選択します。」以外
を選択する場合は、所得金額と控除額についても記入してください。

☑1 上場株式等の配当所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について次のとおり選択しま

- ☑① 申告不要を選択します。
- ☐② 総合課税を選択します。

総合課税分の所得金額 ()円 配当割額控除額 ()円

- ☐③ 申告分離課税を選択します。

申告分離課税分の所得金額 ()円 配当割額控除額 ()円

☑2 上場株式等の譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について次のとおり選択しま

- ☑① 申告不要を選択します。
- ☐② 申告分離課税を選択します。

譲渡所得等の金額 ()円 株式等譲渡所得割額控除額 ()円

② 翌年度以後に繰り越す上場株式等に係る譲渡損失の金額は、次のとおりとします。

| | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 上場株式等の譲渡の収入金額 ()円 | 上場株式等の譲渡所得等の金額 ()円 |
| 総合課税分の配当等の所得金額 ()円 | 配当割額控除額 ()円 |
| 申告分離課税分の配当等の所得金額 ()円 | 配当割額控除額 ()円 |
| 翌年以後に繰り越される損失の金額 | 2年前()年度分()円 前年度()年度分()円 |
| | 本年度()年度分()円 |

例2 複数の源泉徴収口座があり、一部の源泉徴収口座の配当等所得について住民税で申告する場合（ここでは、配当Aについて市民税・県民税で申告不要を選択し、配当Bを分離課税とした場合の書き方を紹介します。）

| | |
|---------|--------|
| 源泉徴収口座A | |
| 配当A | 2,000円 |

| | |
|---------|--------|
| 源泉徴収口座B | |
| 配当B | 1,000円 |

様式第14号の2(第11条関係)
(宛先)高崎市長



年度()年分) 市民税・県民税
特定配当等・特定株式等譲渡所得金額

<提出年月日 年 月 日 >

必要事項を記入し、ご捺印お願いします。

| | | | |
|------------|-------------|------|---------------------------------------|
| 年1月1日現在の住所 | 高崎市高松町35番地1 | 電話番号 | ***-***-**** |
| 現在の住所 | 高崎市高松町35番地1 | 生年月日 | 明・大・ 昭 ・平・令 * 年 * 月 * 日 |
| フリガナ | タカシ イ | 個人番号 | *:*:*:*:*:*:*:*:*:* |
| 氏名 | 高崎 市 | | |

上場株式等の配当所得等及び譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について、所得税の確定申告とは異なり課税方法を選択する場合は、上の各項目を記入の上、提出してください。上場株式等に係る配当等所得については、上の各項目を記入の上、提出してください。

また、本申告

複数の源泉徴収口座があり、一部の源泉徴収口座の配当等所得について申告不要とする場合は、申告する源泉徴収口座の内容のみ記入してください。例では、「③ 申告分離課税を選択します。」の頭の□に✓(チェック)を記入し、配当B 1,000円のみ記入します。

資料の提出にご協力お願いします。申告不要を選択します。」以外について次のとおり選択しま

1 以下の該当を選択された

☑1 上場株式等

- ① 申告不要
- ② 総合課税を選択します。

総合課税分の所得金額 ()円 配当割額控除額 ()円

☑③ 申告分離課税を選択します。

申告分離課税分の所得金額 (1,000 円) 配当割額控除額 (50 円)

☐2 上場株式等の譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について

- ① 申告不要を選択します。
- ② 申告分離課税を選択します。

源泉徴収口座B内の配当(1,000円)に対して5%で源泉徴収されている住民税額を配当割額控除額として、分離課税分の記入欄に「50」円と記入します。

譲渡所得等の金額 ()円

2 翌年度以後に繰り越す上場株式等に係る譲渡損失の金額は、次のとおりとします。

| | |
|-----------------------|--|
| 上場株式等の譲渡の収入金額 ()円 | 上場株式等の譲渡所得等の金額 ()円 |
| 総合課税分の配当等の所得金額 ()円 | 配当割額控除額 ()円 |
| 申告分離課税分の配当等の所得金額 ()円 | 配当割額控除額 ()円 |
| 翌年以後に繰り越される損失の金額 | 2年前()年度分()円 前年度()年度分()円 本年度()年度分()円 |